

審判の日の大いなる兆候 (4/7) : 偽メシア (後半)

説明 :

ここからは、最後の日と審判の日の少し前に発生する大きな兆候について述べます。本稿では、引き続き偽メシアに関する事、そして彼の追従者たちや彼の地上での滞在期間について説明します。より ジャマールディーン ザラボゾ (© 2012 IslamReligion.com)

掲載日時 07 May 2012 - 編集日時 07 May 2012

カテゴリ : [記事](#) > [来世](#) > [審判の日とその兆候](#)

私たちがダッジャーの逸話から学ぶことの出来ることの1つに、富と業績が人の真の価値を決めるのではないということがあります。たとえある人がこの世の富のすべてを手に入れたとしても、その心に信仰がなければその人に全く価値はありません。サヒーフ ムスリムのハディースにはこうあります。

“ ムギーラ ブン シュウバは述べた：私ほどに神の使徒（神の慈悲と祝福あれ）へ、ダッジャーについての質問をした者はいなかった。彼は（私に）言った。「彼はあなたに何も危害を加えることはないでしょうから、あなたにとって彼が悩みの種となることはないでしょう。」私は言った。「神の使徒よ、彼には（潤沢な）食料と水があるとされていますが。」それに関して彼は言った。「彼（ダッジャー）と、彼の手によって創り出されることを神がお許しになるもの（大量の食料と水）を通して信仰者を惑わす能力は、それらの出来事によって信仰者の信仰心を増大させる神の能力に比べると、取るに足らないものです。」

サヒーフ ムスリムでは、預言者ムハンマドの言葉として次のようなものも記録されています。

“ マッカとマディーナを除いて、ダッジャーが通過または行き来することの出来ない土地はないでしょう。両都市に続く全ての道は、列を成した天使たちによって守られているからです。そして彼（ダッジャー）はマディーナの近隣地（そこは高濃度の塩分を含み、侵食によって不毛となっている土地）に現れますが、そこ（マディーナ）は激しく揺れ、それによって全ての不信仰者と偽善者たちがそこから離れ、彼（ダッジャー）の元に向かうほどです。”

また、預言者はダッジャーの追従者たちについても述べています。

“ ダッジャーは、ペルシャのショールを身に付けたイスファハンの7万人のユダヤ教徒たちによって追従されるでしょう。”

サヒーフ ムスリムに収録されている次の長いハディースは、ダッジャーによる搾取についての詳細と、審判の日の次の大きな兆候であるイエスの再臨について叙述します。

“ アン=ナウワース ブン サムアーンは、ある日の朝に神の使徒がダッジャーについて言及したことを報告した。彼（預言者）は、時に彼（ダッジャー）が重要でないかのように説明し、時に（彼による動乱が）非常に重要であるかのように説明したため、私たちは彼がナツメヤシの木の茂みの中にでもいるかのように錯覚した。その日の晩に私たちが彼（預言者）を訪れたとき、彼は私たちの顔（に浮かんだ恐怖心）を読み取り、こう言った。「あなたがたはどうしたのですか？」私たちは言った。「神の使徒よ、今朝あなたはダッジャーに関して、（時に）重要ではないかのように、そして時に非常に重要であるかのように言及されました。それで私たちは彼がナツメヤシの木の茂みの中のどこか（近く）に潜んでいるのではないかと考え出しました。」そこで彼は言

いました。「ダッジャールだけでなく、私はあなたがたの心に数多くの恐怖を抱かせました。私がまだあなたがたと共にいるときに彼が現れたのであれば、私があなたがたを代表して彼と争うでしょう。しかし私があなたがたと共にいないときに彼が現れたのであれば、ある男が自らを代表して彼と争わなければならず、神は私に代わって（あらゆる悪から守るよう）すべてのムスリムの世話をしてくれるでしょう。彼（ダッジャール）は若い男で、曲がりくねった縮れ毛を持ち、片目が盲目でしょう。彼はアブドル=ウッザー ブン カターンに似ています。あなたがたの内、生きて彼を目にする者は、彼に対してスーラ アル=カハフの最初の数節を唱えるべきです。彼はシリアとイラクの間に現れ、右に左に悪事を広めるでしょう。神のしもべよ！（真実の道に）従うのです。」

私たちは言った。「神の使徒よ、彼はどれほどの期間に渡って地上に留まるのでしょうか？」彼は言った。「40日間ですが、そこには1年程の長さの1日、1ヶ月程の長さの1日、そして1週間程の長さの1日があるでしょう。そして残りの日々は（通常の）1日（と同じ長さ）でしょう。」私たちは言った。「神の使徒よ、1年と同じ長さの1日では、1日分の礼拝をすれば事足りるのでしょうか？」そこで彼は言いました。

「いいえ。あなたがたは（礼拝の）時間を見積もらなくてはなりません。」私たちは言った。「神の使徒よ、彼は地上ではどれ程の速さで歩くのでしょうか？」

そこで彼は言った。「風に流れる雲のようにです。彼は人々の前に現れ（虚偽の宗教へ）人々を導き、彼らはその信仰を肯定して彼に従うでしょう。そして彼は空に命じて雨を降らせ、作物が育つでしょう。そしてその晩、彼らの放牧させる家畜はとても高いこぶと満たんの乳と膨れた横腹を持つでしょう。そして彼は別の人々のもとに現れて彼らをいざなうでしょう。しかし彼らは彼を拒否し、彼が彼らから離れると、そこには干ばつがもたらされ、彼らには何の富も残されないでしょう。そして彼が荒廃した土地を通り、「宝を産出せよ」

と言うと、宝が出てきてミツバチの群れのように（自ら）彼の前に陳列します。そして彼が若さ溢れる人物を呼ぶと、彼を剣で真っ二つに切り裂き、（その二つの破片の距離は）射手と標的の間ほども離れます。そして彼が（その若者を）呼ぶと、彼は笑いながら現れ、その顔は（幸せに）満ち溢れています。その瞬間こそ、神がマリアの息子キリストを遣わすときなのです... ”

この記事のウェブアドレス：

<http://www.islamreligion.com/jp/articles/617>

Copyright © 2006-2011 www.IslamReligion.com. All rights reserved.